

令和7年度～令和11年度

とみぐすく
ハッピープラン2025



豊見城市
豊見城市社会福祉協議会

は じ め に

～ お互いを認め合い、一人ひとりがつながる優しさの輪、
みんなで支える地域福祉のまちづくり ～



我が国においては、人口減少や少子高齢化による社会構造の変化、価値観や生活様式の多様化等、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。また近年、いわゆる 8050 問題、ダブルケア、ひきこもり等、生活課題の複雑化・複合化も問題となっています。特に地域のつながりが徐々に希薄化している中で、こうした困りごとを抱えていても、誰にも相談することができずに社会的に孤立し、問題が深刻化してしまうことが大きな課題となっております。

このような状況のなか、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市民の皆様、関係機関・団体の皆様、社会福祉協議会、行政等が協力して、互いに支え合うことのできる、より良い地域づくりに取り組み、本計画の基本理念である『お互いを認め合い、一人ひとりがつながる優しさの輪、みんなで支える地域福祉のまちづくり』を実現するために、「第4次豊見城市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

本計画は、豊見城市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」と一体的に策定することで、本市の地域福祉の理念や方向性、具体的な取り組みを共有しながら、「地域共生社会の実現」に向けて取り組んでいく計画となっています。

また、今回の計画は、「豊見城市成年後見制度利用促進基本計画」、「豊見城市自殺対策計画」、および「豊見城市再犯防止推進計画」を包含した計画となっており、成年後見制度を必要とする方々への支援環境の整備、自殺対策を推進するための関係機関とのネットワーク構築、再犯防止のための自立支援や理解啓発等にも取り組んでまいります。

本計画に掲げる基本理念『お互いを認め合い、一人ひとりがつながる優しさの輪、みんなで支える地域福祉のまちづくり』の実現のために、引き続き皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、アンケート調査にご協力をいただきました市民の皆様、多くの貴重なご意見、ご提言をいただきました豊見城市地域福祉計画審議会委員の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝を申し上げます。

令和7年3月

豊見城市長 徳元 次人

は じ め に



私達の地域社会では、少子高齢化や核家族化の進展とともに、地域のつながりの希薄化が進み、地域組織力の低下が顕著に現れ、住民同士の支え合い助け合う生活環境も減少してきております。それに伴い、高齢者世帯・単身者世帯・ひとり親世帯等の社会的孤立や経済的な困窮世帯の増加、「8050 問題」「ダブルケア」「重層的な課題を抱える世帯」等、地域における福祉課題は、複雑化・複合化しています。

このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが重要になっております。

私達は、共生社会を目指すため、「お互いを認め合い、一人ひとりがつながる優しさの輪、みんなで支える地域福祉のまちづくり」を基本理念とした‘第4次豊見城市地域福祉計画・地域福祉活動計画(とみぐすくハッピープラン 2025)’を本会と豊見城市において一体的に策定いたしました。

この基本理念の実現のために、地域全体の福祉向上に向けて具体的な取り組みを進めてまいります。

地域の皆さまで一人ひとりが、日常生活の中で助け合い・支え合いを推進し、地域の絆をさらに深め、共に生き安心して暮らせる社会を実現するためには、皆さまのご理解とご協力が不可欠です。

行政はもとより市民や自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、地域の福祉施設団体、企業等との連携を図り、協働による計画推進のための取り組みを実施してまいります。

本計画の策定に当たり、多大なご尽力を賜りました各委員の皆様を始め、貴重なご意見をいただきました多くの皆様方に心から深く感謝を申し上げますとともに、計画の円滑な推進に一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

社会福祉法人
豊見城市社会福祉協議会

会 長 運 天 齋

目 次

【第1章 地域福祉計画の見直しにあたって】

1. 計画策定の背景と趣旨	1
2. 計画の目的	4
3. 計画の性格	4
4. 計画の包含について	5
5. 第4次豊見城市地域福祉計画・地域福祉活動計画の位置づけ	6
6. 包含する計画について	11
7. 計画の期間	14
8. 計画の策定体制等	15

【第2章 地域福祉に関連する市の状況】

1. 人口	17
2. 高齢者の状況	20
3. 障がい者の状況	25
4. 児童の状況	27
5. 生活保護の状況	28
6. 生活困窮者の自立支援	30
7. 子どもの貧困対策	32
8. 成年後見制度に関する現状	33
9. 自殺に関する現状	36
10. 再犯防止に関する現状	39
11. 自治会の声の把握	41
12. 民生委員・児童委員の声の把握	42
13. 老人クラブの声の把握	43
14. ひとり親家庭の声の把握	44
15. 市民の声の把握（広報紙アンケートより）	45
16. 市内相談支援機関へのアンケート調査結果	46
17. 子どもの状況（中学生へのアンケート調査より）	51
18. 市民意識調査の集計結果より	55

【第3章 第3次計画の推進状況の点検】

基本目標1 「住民の主体的参加の仕組みづくり」について	61
基本目標2 「地域に根ざした支え合いの仕組みづくり」について	67
基本目標3 「サービス利用に対するきめ細かな支援」について	72
基本目標4 「健康で安心して暮らせるまちづくり」について	78

【第4章 計画策定の基本的な考え方】

1. 基本理念	83
2. 地域福祉推進の視点	84
3. 基本目標	85
4. 施策の体系	86
5. 自助・互助の促進	88
6. 計画における「地域」の考え方	89

【第5章 今後の取り組み】

基本目標1 住民の主体的参加の仕組みづくり	91
基本目標2 地域に根ざした支え合いの仕組みづくり	100
基本目標3 複雑化・複合化した課題に応える支援体制づくり	107
基本目標4 健康で安心して暮らせるまちづくり	119

【第6章 計画の推進に向けて】

1. 自助・互助、共助、公助の意識の啓発、普及	127
2. 全庁的な連携体制の強化（地域包括支援体制づくりに向けて）	127
3. 市全体の連携	127
4. 計画の進行管理	128

資 料 編

1. 豊見城市地域福祉計画審議会規則	129
2. 豊見城市地域福祉計画検討委員会設置要領	131
3. 豊見城市地域福祉活動計画推進評価委員会設置要綱	133
4. 豊見城市地域福祉計画審議会委員名簿（豊見城市地域福祉活動計画推進評価委員会名簿）	134
5. 豊見城市地域福祉計画検討委員会、作業部会委員名簿	135
6. 会議の開催経過	137